



高浜市の未来を描く市民会議

ニュースレター

2010. 11. 16(火) VOL.11



事務局：高浜市地域協働部地域政策グループ 高浜市青木町四丁目1番地2 TEL0566-52-1111(内線 352)

「こんなことに取り組みます」を具体化しよう！

アクションプラン(案)について意見交換しました!!

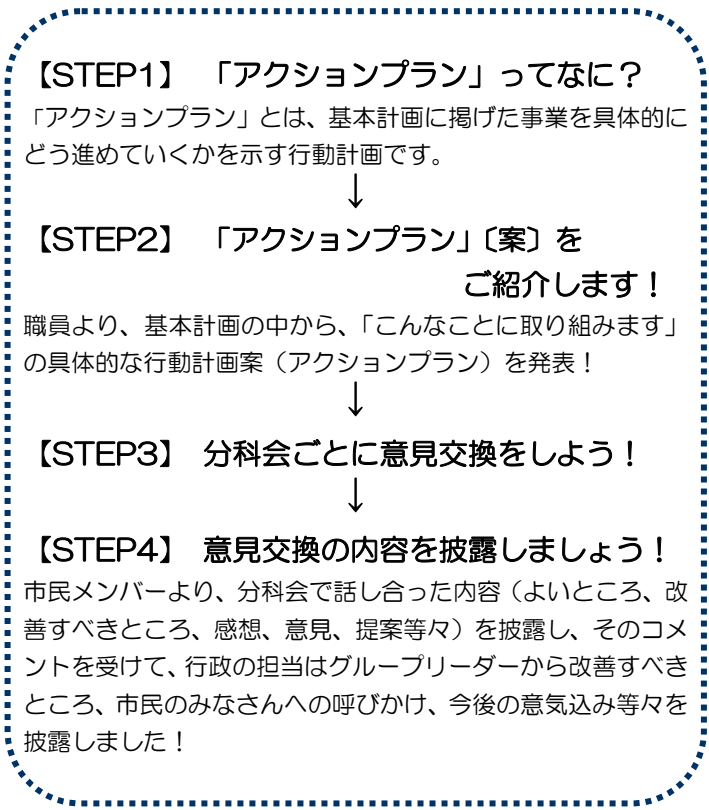
10月22日(金)高浜市役所にて11回目の市民会議を開催しました。参加者は、108人でした。

この日のテーマは「こんなことに取り組みます」を具体化しよう！

来年度の予算を考える時期が近づき、いよいよ計画の具体化、実行に向けて、行政も知恵を絞り、案を考えています。今回は市民会議のみなさんに案の一部をお示しして、これまでの分科会の中での、議論や想いがきちんと反映されているかどうか、また、もっとこうしたらいいんじゃない?といったアイデアを頂き、市民メンバーと職員メンバーがそれぞれの立場で感想や意見を述べ合いました。

その後、財務評価グループの職員より「わかりやすい予算書」を使って、「平成21年度に市民1人あたりに使われたお金ってどのくらい?」「高浜市の収入と支出を家計簿に例えると・・・」等々、高浜市の財政状況についての説明を行いました。総合計画「こんなことに取り組みます!」の中に「予算編成のプロセスや財政状況を市民にわかりやすくお伝えし、考えることができる環境を整えます」とありますが、市民の皆さんと一緒にまちづくりを行うためには、市民の皆さんに少しでも財政状況に関心を持っていただき、情報共有をしていきたい・・・との思いから、市民会議の行財政運営分科会のメンバーと財務評価グループ職員と一緒に考え、作成したものです。

現在、総合計画の策定作業は最終コーナーに差し掛かっています。行政では、みんなで目指すまちづくりの目標値の検討などを行っています。次回の市民会議ではこれらを皆さんにお返し、二人三脚(148人149脚?)でゴールを目指します。



市民はどんな形で事業に関わっていったらいいかな?



子育て・子育てから教育、そして生涯学習まで分科会ごとの取り組みを情報共有できる体制を整えて、協力していきたいな!

まちづくりの基本原則「参画・協働・情報共有」は、きちんと踏まえられているかな?

分科会で議論した私たち市民の想いが、事業計画の中にきちんと活かされているね!



【STEP4】意見交換の内容を披露しましょう！

市民と職員のキャッチボールの様子

目標のなかで、「市民とともに」が大きくクローズアップされると思う。市民会議で計画づくりを進めてきて、せっかく仕組み・システムが出来たのだから、今後より具体的に「どうするか」というところに観点を变えて、市民会議を継続していくといいと思います。参加する人も知識がなければ出来ないの、勉強する機会も必要。情熱のある人が加わりもっと市民力をあげるためにも、いろんな情報を出していく活動をお願いしたい。

【行財政運営分科会市民メンバー】



「市民会議」を継続していくという提案については、ぜひそうしていきたいと考えています。皆様のご協力を、来年度以降もいただき、さらに新しいメンバーの方にも入っていただいて、まちづくりの仲間を増やしていきたいです。【地域政策G GL】

「教育基本構想」の策定を進めているが、生涯学習や幼保小中一貫なども挙げているので、子育て・子育て分科会や生涯学習分科会と協働・情報共有をしながら、検討を進めたいです。

【教育分科会市民メンバー】

「教育基本構想」は、大筋がまとまりつつある。今後は生涯学習や子育て・子育てと合同の分科会を開き、情報のすりあわせを行いながら進めたい。

【学校経営G GL】



「大家族たかはま」として、市民全員の参画がないと、まちはきれいにならない。不法投棄は、まちのモラルや市民のレベルを評価される典型的なものなので、もっと市民全員が参画していくという動機付けが必要。

もし、不法投棄が発生したら、他市よりも早期発見・回収をするスピード化が大切だ。

【環境分科会市民メンバー】

不法投棄は、恥だという言葉は、心にきた。裏を返せば、「きれいなまち たかはま」を希望し、高浜市を愛していただいていると理解をした。市民のみなさんのたくさん目で見えただきながら“みんなで”まちをきれいにしていくように努めていきます。

【市民生活G GL】



【編集後記】わいわいがやがや、真剣に、そんな感じの市民会議。司会者の「意見交換してください」の声を合図にみなさんの声が飛び交います。市民同士、あるいは市民と職員、それぞれの感じ方や意見をお互いが知ることで、さらに良いアイデアが生まれる、そんな効果が得られていると感じます。

最近学んだことですが、諦める（あきらめる）の語源は、『明らかに見極める』だそうです。つまり、世の中の移り変わりや現実をきちんと見極めて対処するということ。語源を知り、物事をしっかりと見極め、明るい方向に進むように、判断力とバランス感覚を持つことが重要である、と改めて感じるようになりました。これは、限られた資源（人・モノ・金）を有効に活用する「選択と集中」にも通じることだと思います。これから来年度予算の編成作業に入っていきます。市民会議の皆さんから寄せられた意見・提案等を踏まえて、「明らかに見極めて」いきたいと思っています。(K.K)

